

令和2（2020）年度

学生生活実態調査報告書
(最終版)

高野山大学

1 調査目的

本調査は、本学学生の生活状況を把握することにより、学生生活の実情を明らかにし、学生生活支援、学修支援の充実のための基礎資料を得ることを目的としている。平成 24 年度に行った「学生生活実態調査」を受けて行った令和元年度の調査アンケートを修正するとともに、コロナ感染症に関する質問を追加した。

2 調査概要

調査は在籍学生全員（大学院生を含む）を対象とし、アンケート用紙を配布し、アンケート用紙、あるいは google form に回答させた。質問項目については、『第 5 回学生生活実態調査 平成 24 年度アンケート集計』（高野山大学学生サポート課、2013 年 1 月）をもとに、独立法人日本学生支援機構の「平成 28 年度学生生活調査」（以下「学生支援機構の調査」とする）も参考にしながら作成した。

①調査方法：アンケート調査

②期 間：2021 年 1 月 日～2021 年 1 月 日

③在籍学生：172 名（高野山 141 名・難波 31 名、男性 122 名・女性 50 名）

④回答者数：87 名（50.6%）

表 1 性別（問 1）×キャンパス（問 6）

性別	男性	女性	計
高野山	50	18	68
難波	4	15	19
計	54	33	87

表 2 学年（問 3）×キャンパス（問 6）

学年	1 回生	2 回生	3 回生	4 回生	大学院	別科	計
高野山	14	7	15	17	13	2	68
難波			6	12		1	19
計	14	7	21	29	13	3	87

3 集計結果

本章では、アンケート調査の集計について概観する。高野山本校（以下「高野山」とする）には社会人学生がいるが、30 才以下の学生が 74%を占める（前年度より割合が低下した）。一方、難波サテライト教室（以下「難波」とする）では社会人編入学に限っており、31 才以上の学生である。そのために、本報告書では高野山と難波に分けて集計した。

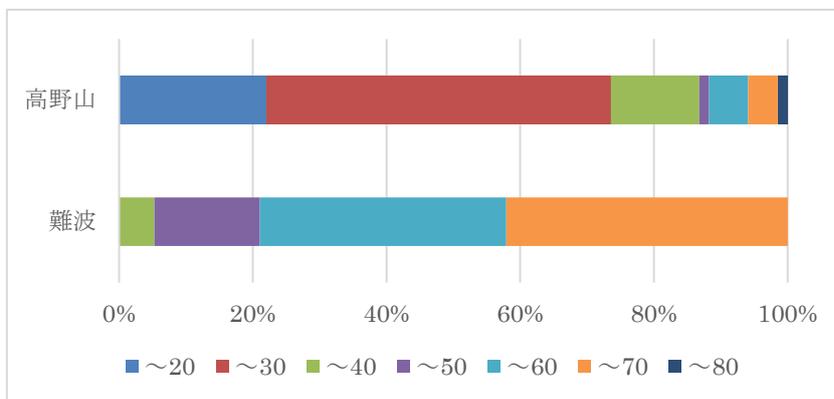


図 1 年齢（問 4）×キャンパス（問 6）

3-1 生活環境

居住先を見ると、難波の学生はほとんどが自宅であるのに対して、高野山では自宅以外が 82.3%を占めている。高野山内（以下「山内」とする）寺院が 20.6%、大学寮（女子寮・留学生男子寮）が 16.1%であり、半数以上は下宿・アパートに住んでいる（図 2）。調査が 1 月であったために、年度初めから移動していると考えられるが、多くの学生が山内に住んでいる。

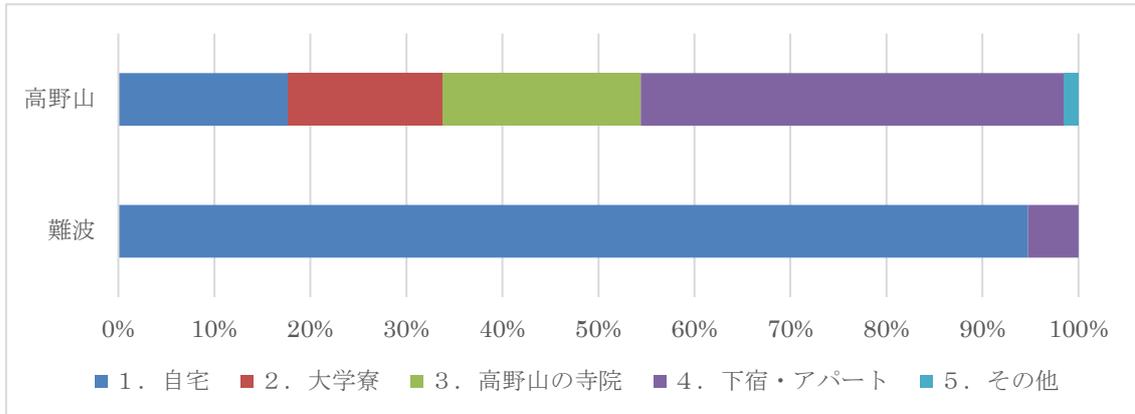


図 2 居住先（問 5）×キャンパス（問 6）

通学時間は、居住先が影響している。自宅通学が多い難波では 31 分以上が 94.7%を占めており、60 分以上は 47.4%、さらに 121 分以上が 1 名である。仕事が終わって夜間に通学する学生が多いと考えられ、授業が終わって帰宅し、さらに学修時間を確保するためには相当な労力を要すると考えられる。

一方、高野山では 20 分以内が 79.4%を占めている（図 3）。121 分以上の学生が 1 名いるが、高野町在住が 58 名（85.3%）であり、通学時間だけを見ると、高野山の学生は時間的に余裕がある。しかし、逆に通学による生活の切り替えができていない可能性もある。

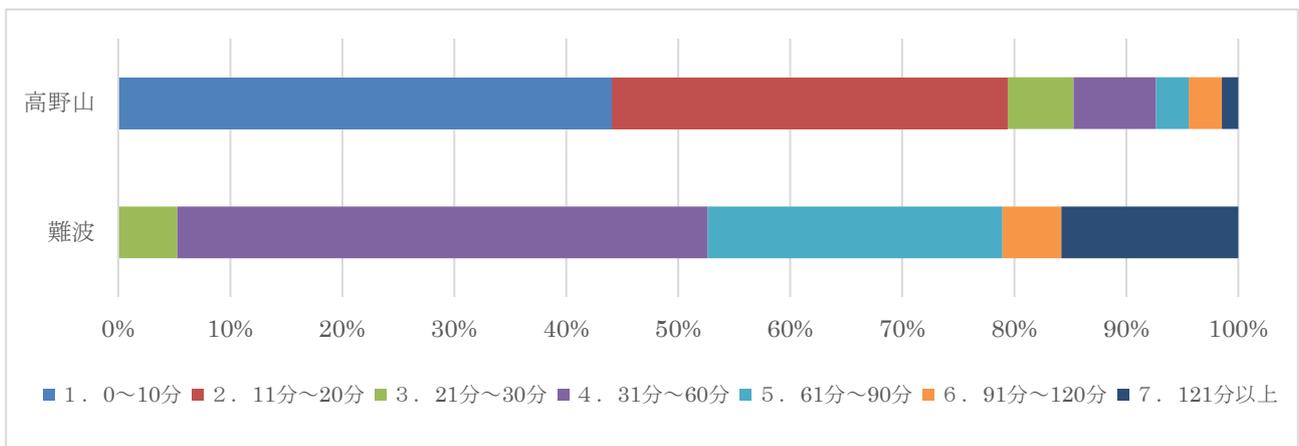


図 3 通学時間（問 7）×キャンパス（問 6）

3-2 生活時間

最近 1 週間の授業時間を見ると、高野山の方が授業を多く受けている（図 4）。難波の学生が仕事をしながら学んでおり、夜間に限定されているからとも考えられるが、1 時間を「60 分」と考えるか、「1 時限」と考えるかで違いが出ているのかもしれない。また調査期間が授業の終了時期であったことが影響しているのかもしれない。あるいはアンケートに回答した学生が授業によく出席しており、出席していない学生が回答していないことも影響しているのかもしれない。本調査からは断定できない。

「全国」は学生支援機構の調査の「大学（昼間部）」の結果であるが、高野山における授業時間は少ない。学修意欲の問題かもしれないが、低学年では履修単位 40 単位未満（履修上限 50 単位）の学生がおり、カリキュラム上履修できる科目が少ないことや、4 限しかない時間割などの制度上の問題から生じていることが考えられる。

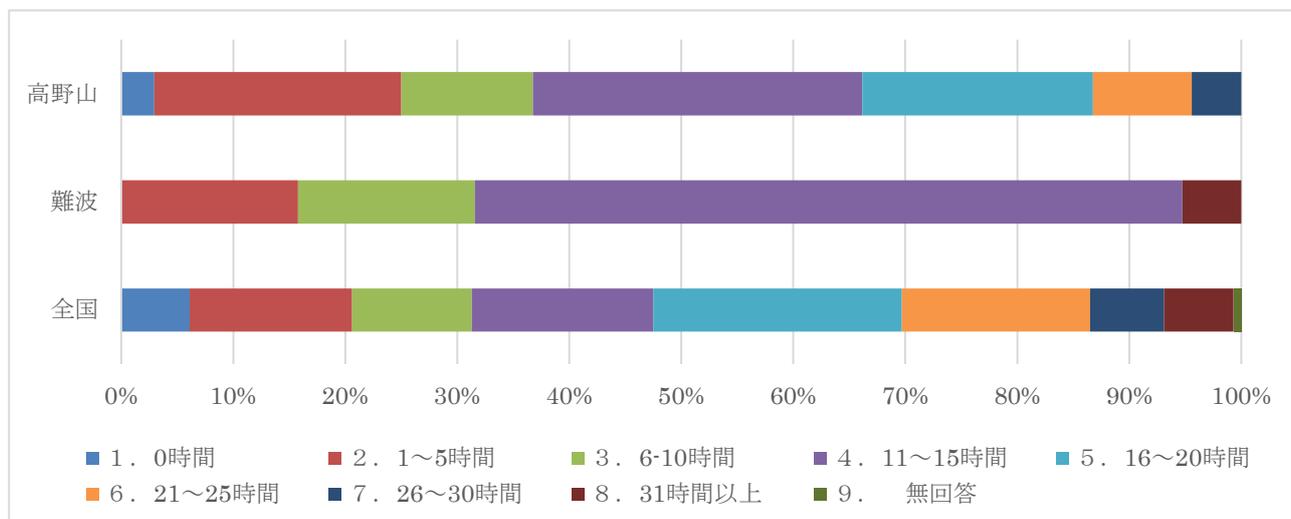


図 4 授業時間 (問 10-1) ×キャンパス (問 6)

復習・予習時間については、高野山では「0 時間」が 10.3%であるが、「6~10 時間」も 30.9%あり、全国の分布と比べると時間は長い。難波では「0 時間」はなく、「1~5 時間」が 47.4%となっているが、社会人が多いためか、ある程度理解しているためか、長時間となっている学生は少ない。

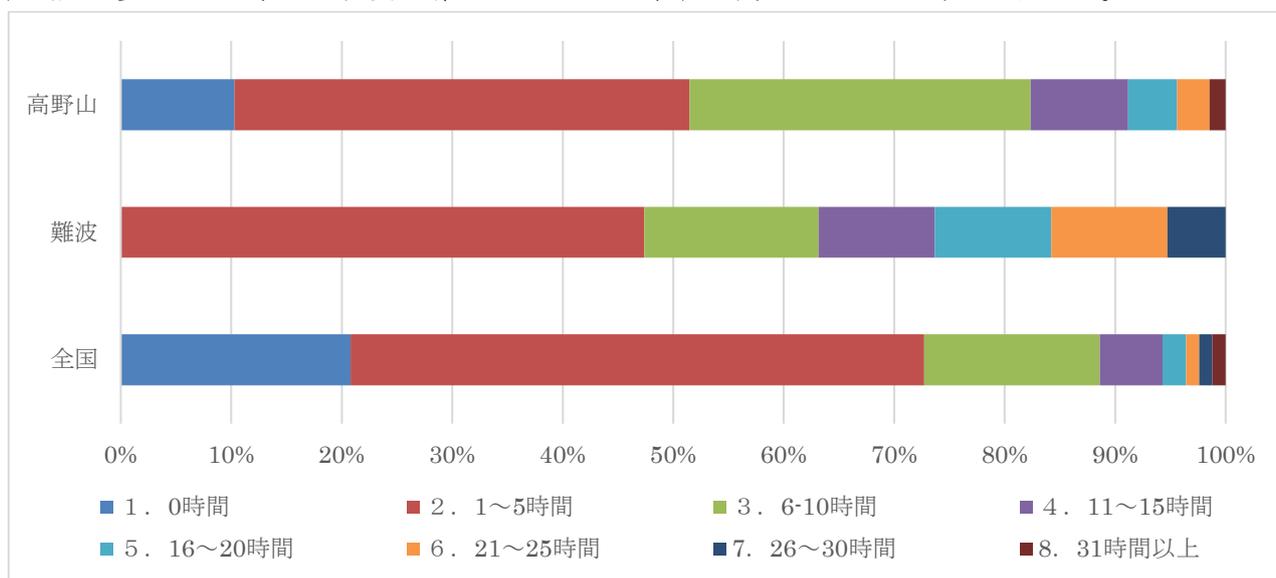


図 5 復習・予習時間 (問 10-2) ×キャンパス (問 6)

資格などのための授業外学習時間については、高野山・難波とも全国に比べて少ない (図 6)。難波については有職社会人であり、高野山大学での学修自体がキャリア形成活動と位置付けられていると考えられる。高野山の時間が短かった原因としては意欲や無関心の問題もあるが、他大学に比べて学内外での資格取得プログラムなどが身近になく、アクセスが難しいことも影響していると考えられる。今後、キャリア形成のプログラムなどのあり方を検討していく必要がある。

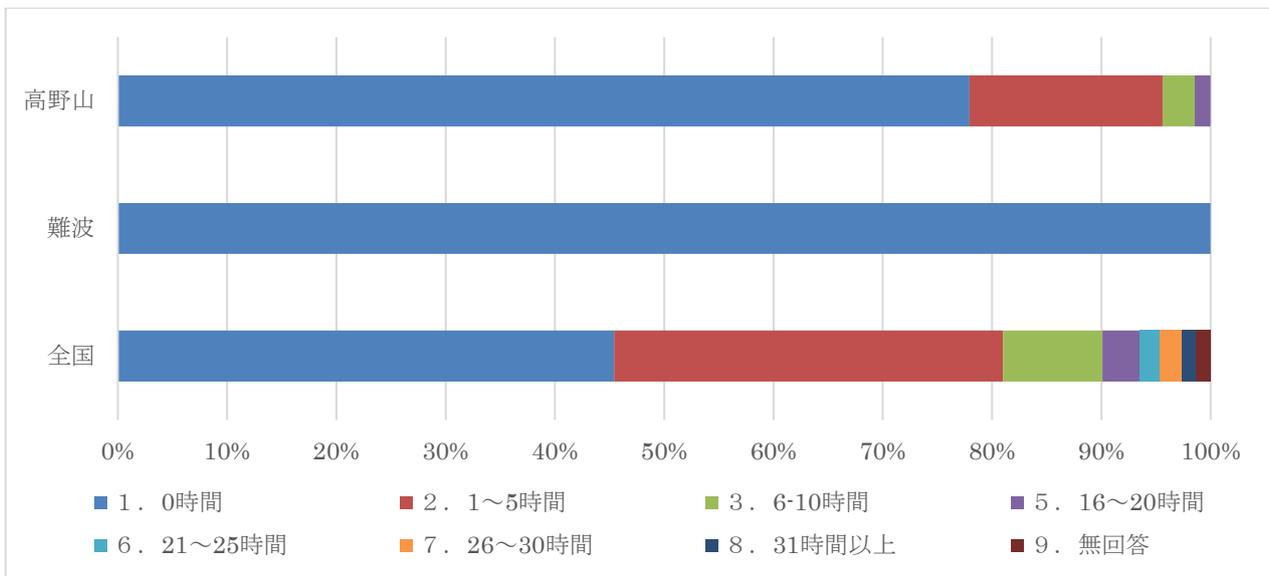


図6 授業外学習時間 (問10-3) ×キャンパス (問6)

部活動・サークル活動については、当然ながら難波では全員「0時間」である。高野山では「0時間」が77.9%となっており(図7)、全国の48.9%割に比べて多くなっている。学生数が少なく、クラブ活動が盛んでない実態が示されている。

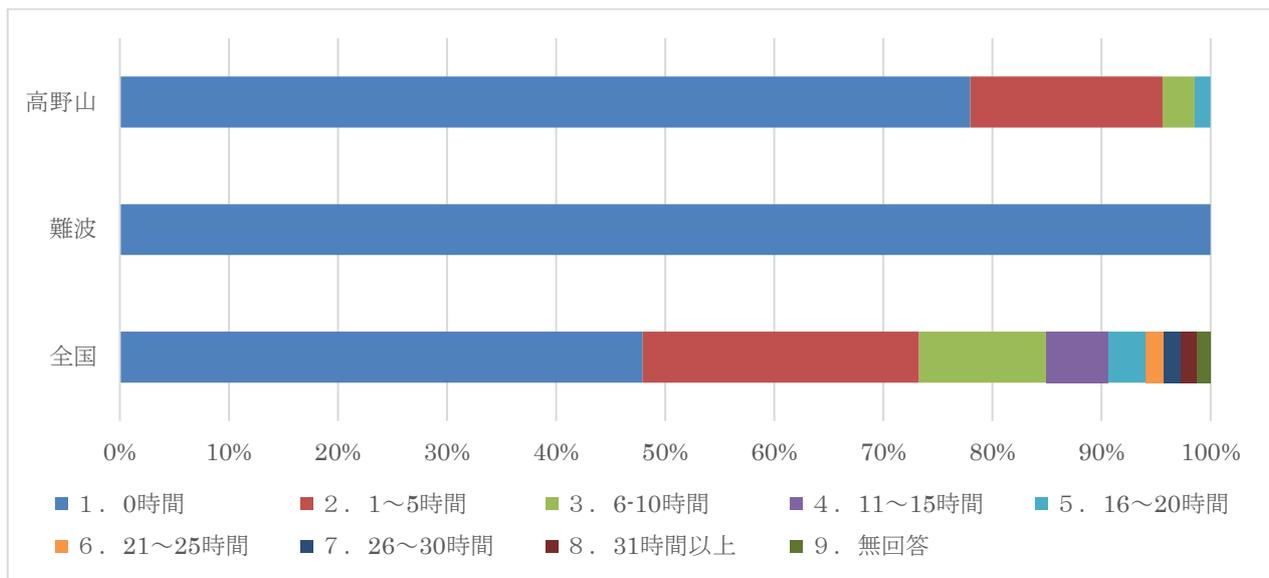


図7 部活動・サークル活動 (問10-4) ×キャンパス (問6)

アルバイト・定職の時間は、難波では「31時間以上」が36.8%である一方、「0時間」が26.3%となっている。高野山では「0時間」が58.8%である一方、「21時間以上(1日3時間以上)」が13.2%であり、「31時間以上」が5.9%(7名)である(図8)。長時間の学生については、寺生であると考えられる。全国と比較しても、本学の特徴が表れている。

図9は、高野山におけるアルバイト・定職の時間ごとに、授業を何時間受講しているのかを示している。これを見ると、アルバイト・定職時間が「0時間」であるから、授業時間が長くなっているわけでもなく、アルバイト・定職時間と授業時間は相関性がないと言える。このことは、復習・予習時間についても同様である(図10)。

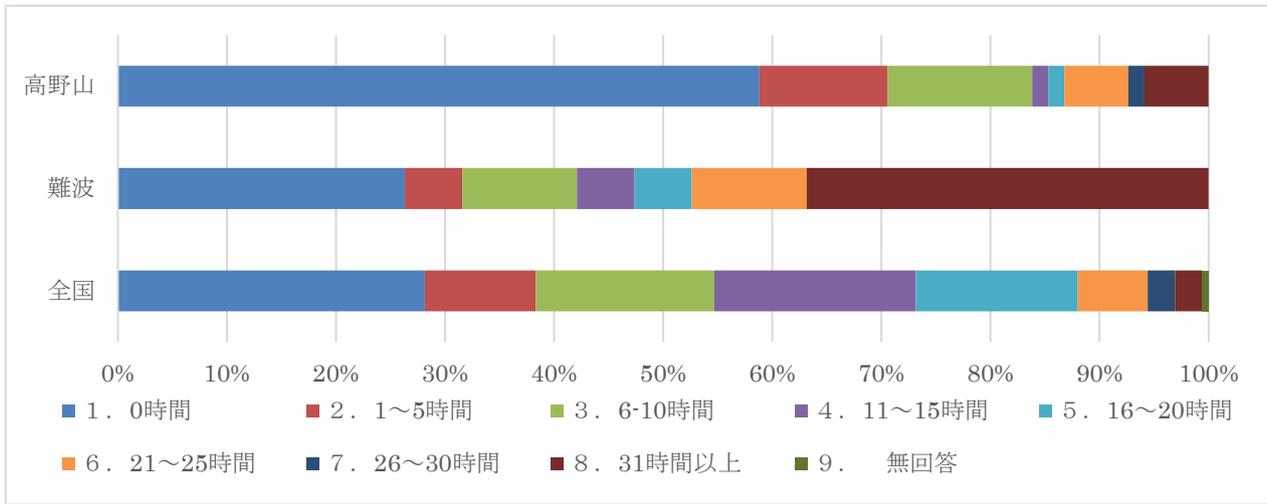


図8 アルバイト・定職（問10-5）×キャンパス（問6）

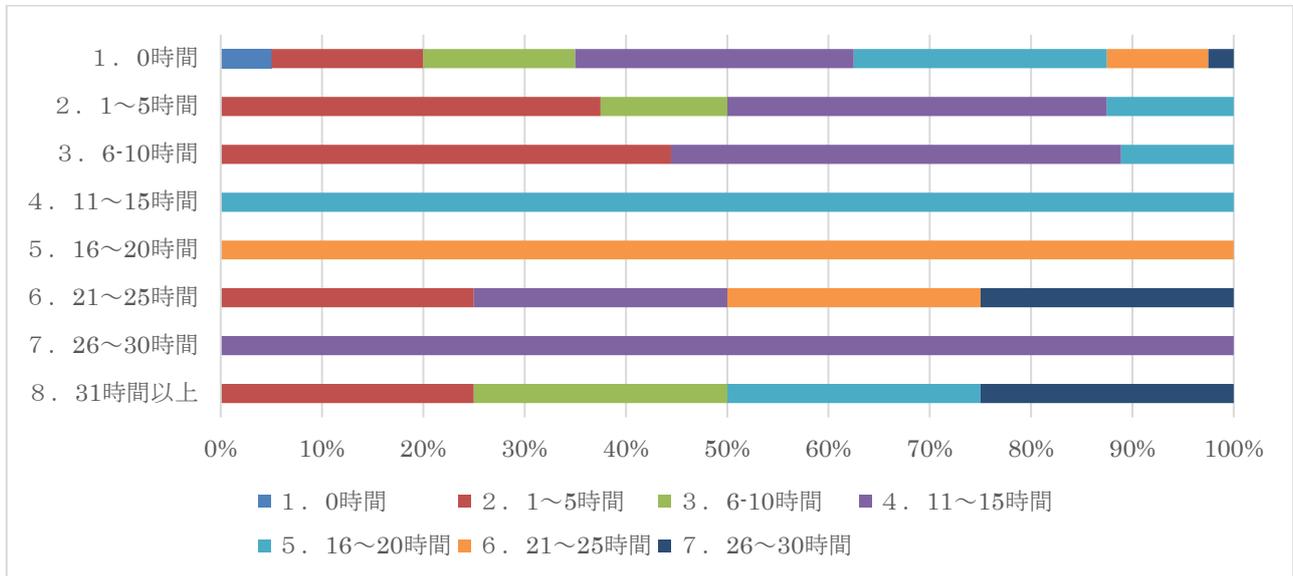


図9 高野山のアルバイト・定職（問10-6）×授業時間（問10-1）

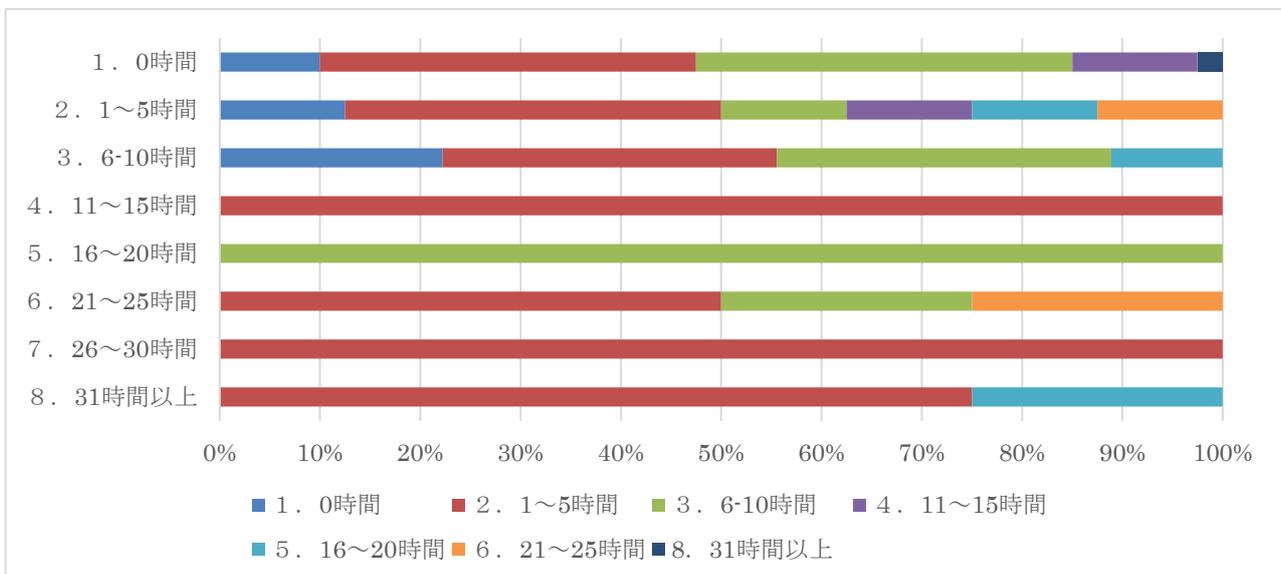


図10 高野山のアルバイト・定職（問10-6）×予習・復習時間（問10-2）

娯楽・交友の時間については、**難波では「0時間」が31.6%**であり（図11）、高野山や全国と比べても突出している。コロナの影響と考えられる。

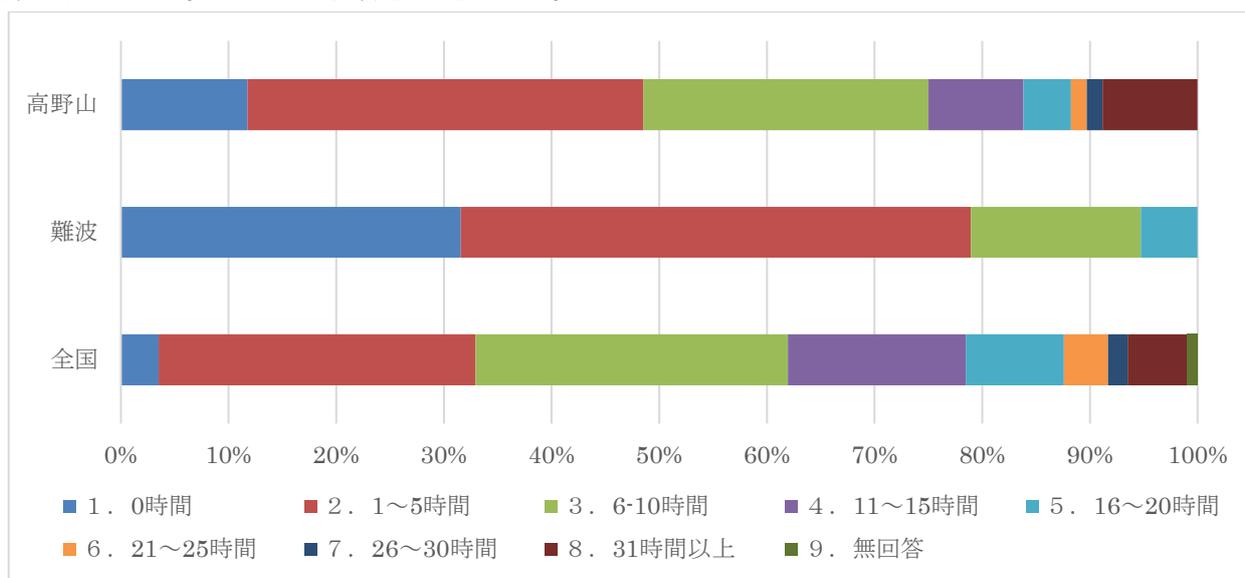


図11 娯楽・交友（問10-8）×キャンパス（問6）

3-2 学修・生活支援

図書館・学修支援の満足度を見ると、**難波**では図書施設が不十分であるからか、「利用していない」が**42.1%**を占めているが、「不満」が全く見られず、**満足している学生が多い**。授業を受けることが目的となっていることの表れと考えられる。一方、**高野山**では「利用していない」が**8.8%**であり、**66.2%が満足している**。**25.0%が不満**を感じている（図12）が、不満が8割である全国と比較すると、不満が極端に少ない。ただし、満足・不満の基準はあくまでも相対的なものであるので、一概に本校が優れているとも断定できないが、落ち着いた雰囲気があり、学部生も書庫に入ることができる環境は学生にとっては満足できるものと考えられる。

今回の調査では、学生支援機構の調査に合わせて質問項目を設定したために、回答者が何に対して反応したのが十分でなかった。次回は、**図書館と学修支援で質問項目を分ける**ことが妥当と考える。

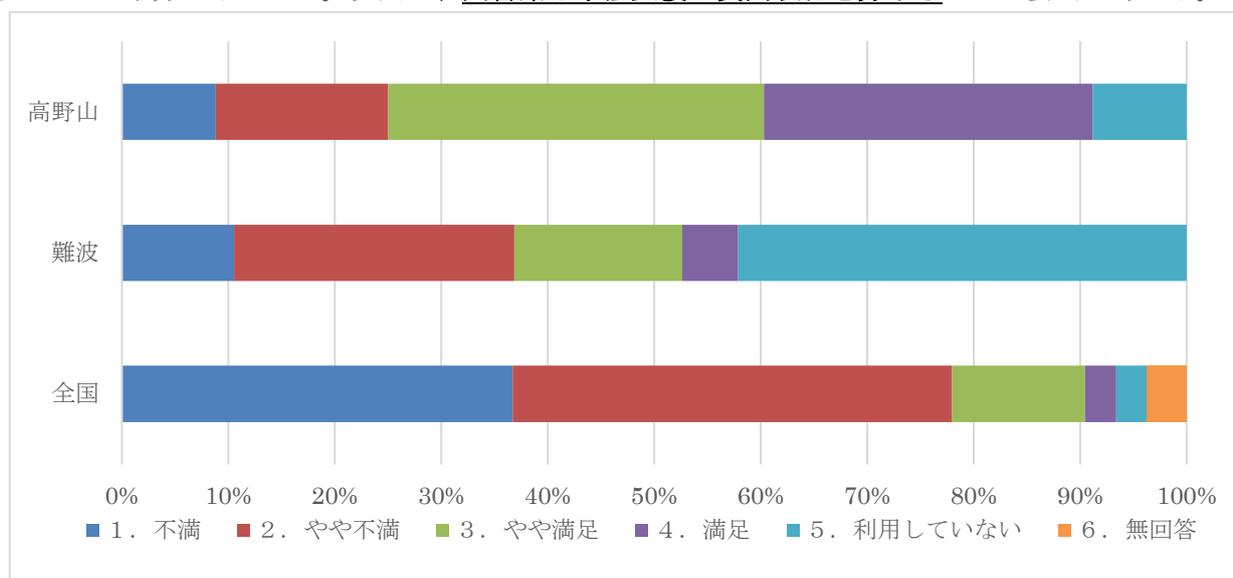


図12 図書館・学修支援の満足度（問11-1）×キャンパス（問6）

就職・進路への指導については、難波はほとんどの学生が利用していない。高野山では55.2%が「利用していない」としている（図13）が、全国では「利用していない」が47.0%であることと比較すると、利用率が大幅に低いとも言えない。また高野山の満足が35.3%、不満が19.1%、これに対して全国の満足が11.1%、不満が17.6%であり、高野山の満足度は高い。ただし、この質問も満足・不満の基準はあくまでも相対的なものであることは留意しておく必要がある。

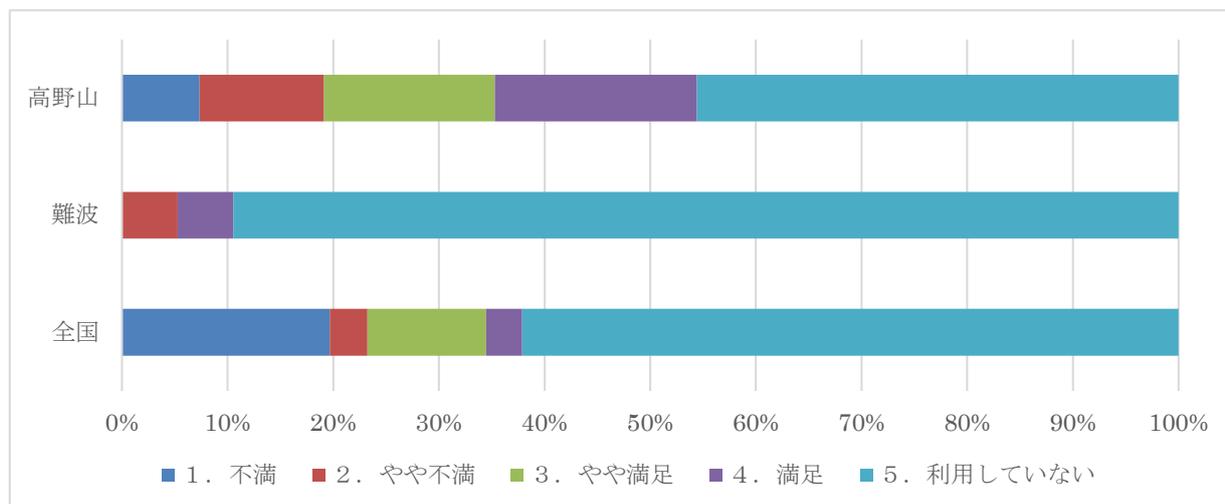


図13 就職・進路への指導 (問11-2) ×キャンパス (問6)

学習・生活の相談については、難波と全国では「利用していない」が6割近くとなっているが、高野山では逆に6割が利用している。高野山・難波とも満足の割合が高い（図14）。ただし、学習・生活の相談を一緒に質問したが、分けた方がよかったのかもしれない。次回の課題である。

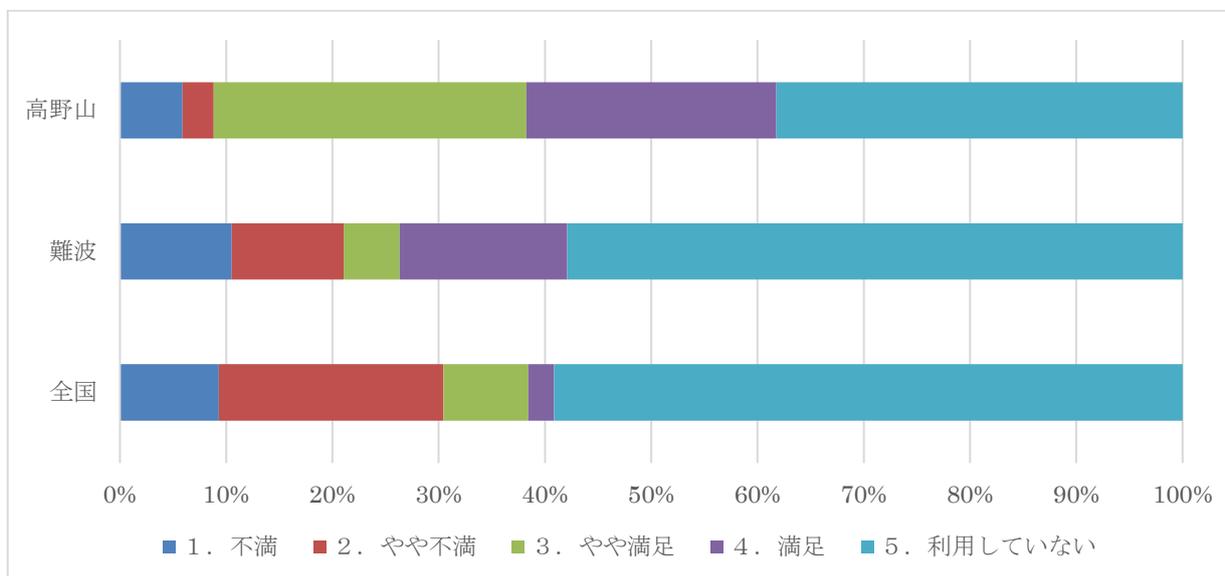


図14 学習・生活の相談 (問11-3) ×キャンパス (問6)

奨学金等の経済的支援の情報提供については、全国と比較すると、高野山は同程度であるが、難波が利用率が高く、満足度が高い（図15）。

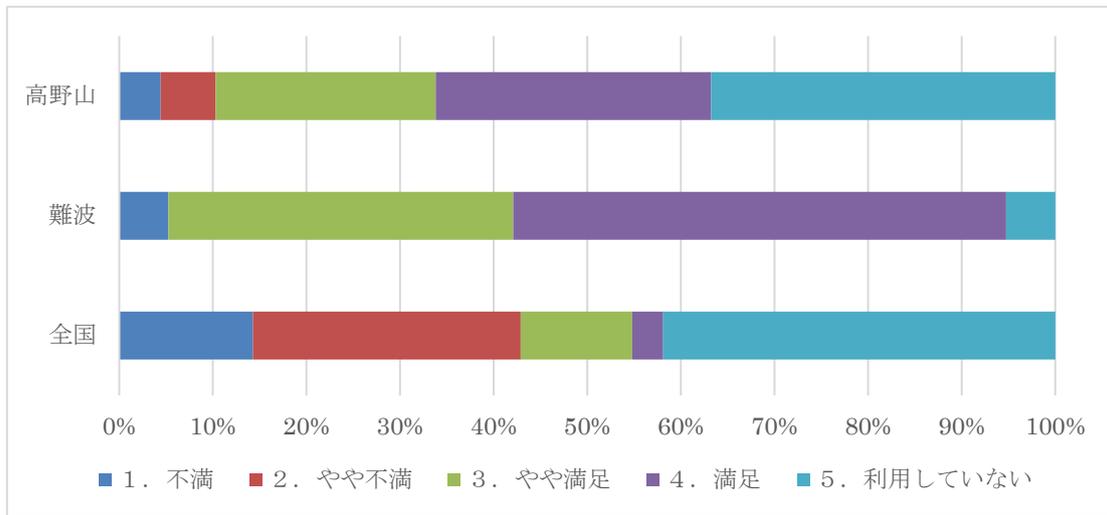


図 15 奨学金等の経済的支援の情報提供 (問 11-4) ×キャンパス (問 6)

3-3 学生の不安・悩み

授業内については、難波では昨年度は「大いにある」が0%であったが、本年度は21.1%であり、「少しある」まで入れると、45.6%と半数近くが不安を感じている。これはコロナウィルス感染症拡大によって遠隔授業への対応によるものと考えられる。一方、高野山では「大いにある」「少しある」を加えても31.6%と昨年度より低くなっている。全国に比べても「大いにある」と回答した学生が多いが、全国の数字は2016年のものであるので、比較対象としては不十分であると考えられる。また、「全くない」と回答した学生は27.9%であり、昨年度の15.9%に比べると増加している (図 16)。高野山では、授業をよく理解している学生が少なく、理解できていない学生が多いことには変わらない。学修支援をどうするのかの立案が重要である。

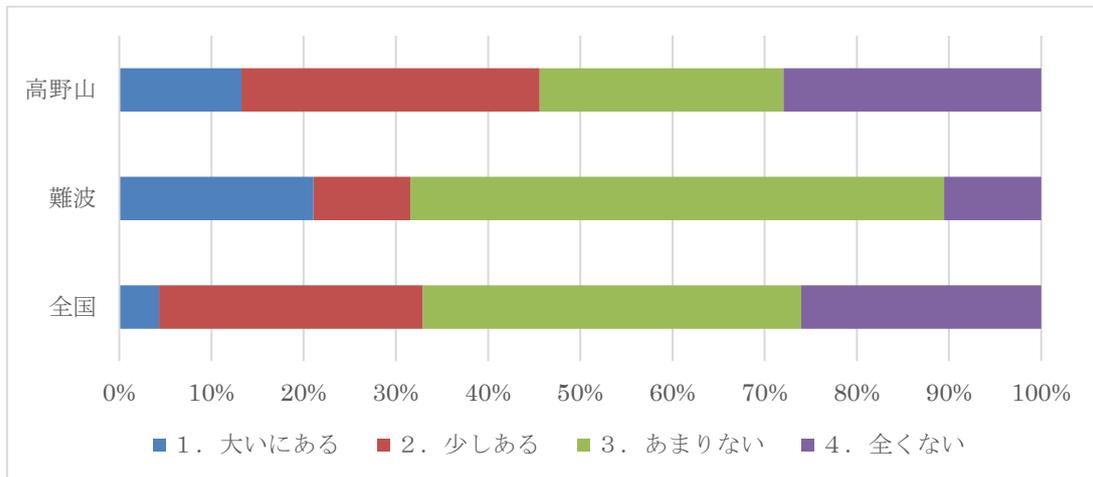


図 16 授業内容への不安 (問 12-1) ×キャンパス (問 6)

卒業後の目的が見つからないことに対する不安については、高野山・難波・全国とも似た傾向を示しているように見える。ただし、難波については、学生の年齢や社会経験を考慮すると、高野山や全国とは質的に違うと考えられる。

高野山では、昨年度「まったくない」が34.9%であったのが、本年度は41.2%と増加している。これは、寺院後継者や僧侶を希望する学生数が多いことが影響しているのかもしれない。全国の数字は2016年のものであるので、今年度の状況を反映していないことには注意を要する。

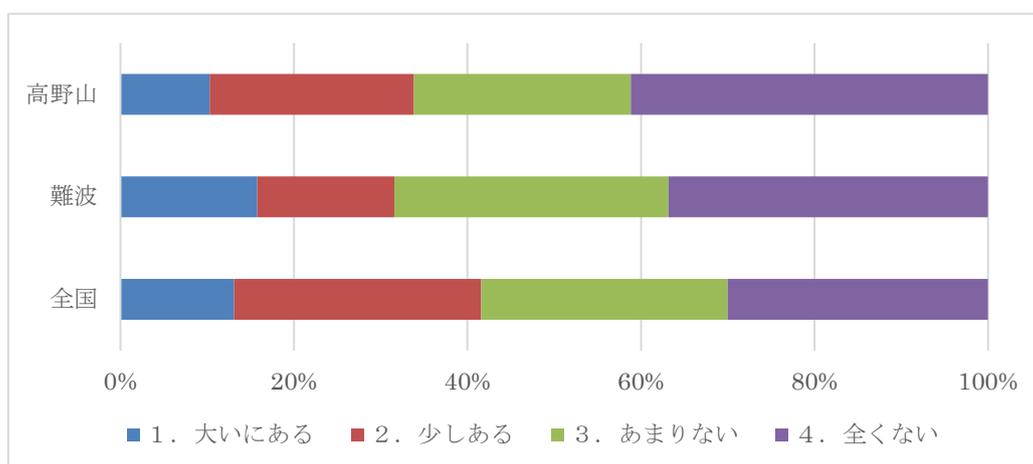


図 17 卒業後の目的が見つからない (問 12-2) ×キャンパス (問 6)

希望の就職先や進学先に行けるかという不安については、難波では社会人が多く、不安を感じていない学生が多い。 高野山と全国では同じような傾向を示しているが、「全くない」が多く、「大いにある」が少ない (図 18)。全国がコロナウィルス感染症拡大でどのように変化している検討する必要がある。

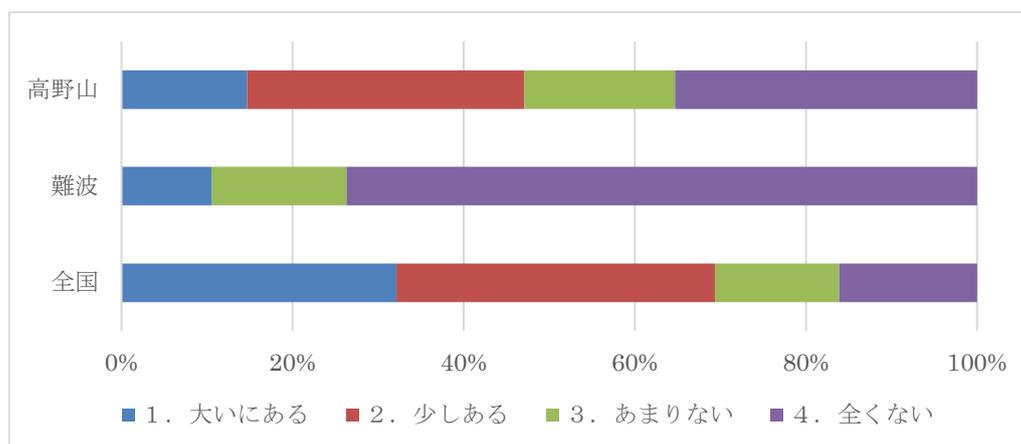


図 18 希望の進路につけるか (問 12-3) ×キャンパス (問 6)

経済的に修学が難しいという不安があるのかという質問に対して、難波では、不安があるは 31.6%であり、昨年度の 5.6%より増加した。 一方、高野山では「大いにある」「少しある」が 45.6%であった (図 19)。学修や寺生・アルバイト、奨学金などの生活全体との関係で考えていく必要がある。

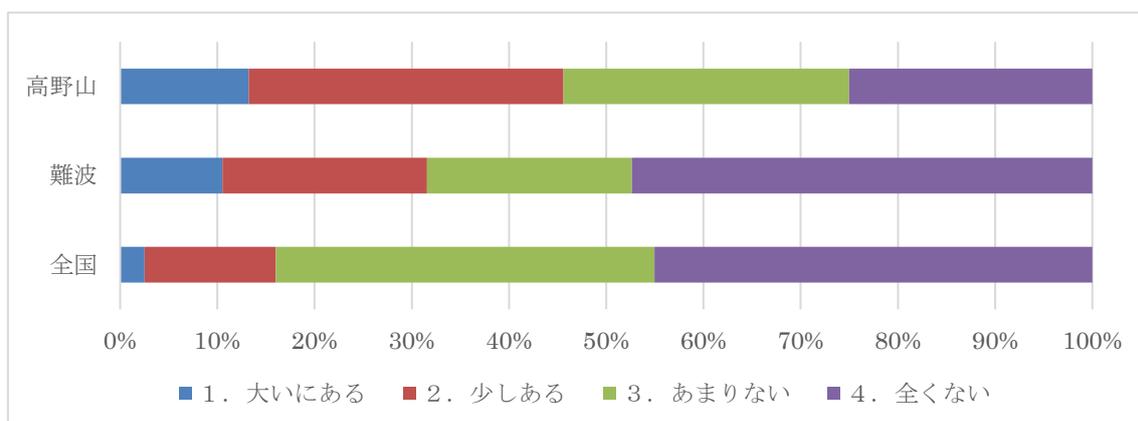


図 19 経済的に修学が難しい (問 12-4) ×キャンパス (問 6)

友人関係の悩みについて、**難波では「全くない」が68.4%**であり、「大いにある」はない。**高野山**と全国では類似した傾向を示している（図20）。

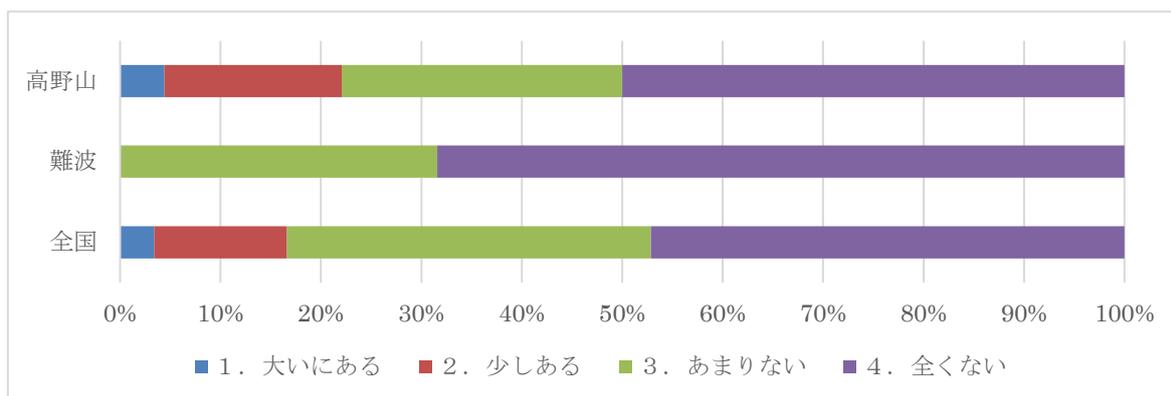


図20 友人関係の悩み (問10-5) ×キャンパス (問6)

3-3 経済状況

家庭からの支援で修学が可能かという質問について、**難波では社会人であることから「給付なし」が31.6%**である。**高野山では、修学可能が昨年度58.7%であったが、本年度は45.6%と減少している。**修学継続困難は昨年度9.5%が、今年度17.6%と増加した。**「給付なし」は15.9%が、本年度19.1%と増加した**（図21）。コロナウイルス感染症拡大と関係している可能性がある。

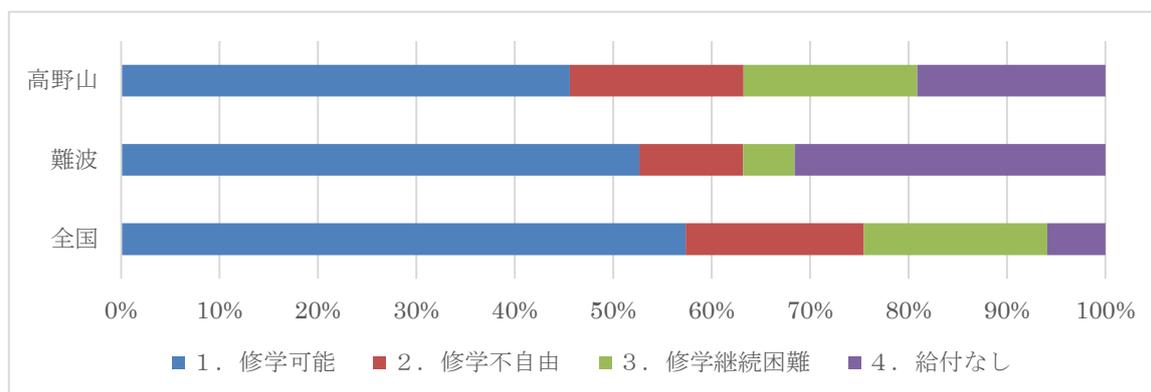


図21 家庭からの支援 (問13) ×キャンパス (問6)

授業料減免は、**難波では昨年度33.3%に対して、本年度は57.9%であった。****高野山では減免を受けた学生は昨年度15.9%に対して、本年度29.4%であった**（図22）。難波・高野山とも増加している。

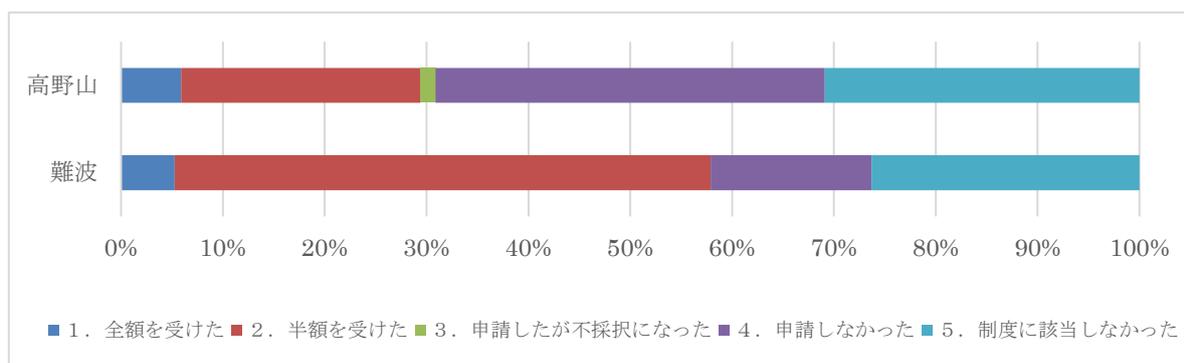


図22 授業料減免 (問14) ×キャンパス (問6)

新型コロナウイルス感染症対策の経済的支援（学びの継続の為の給付金）については、高野山で38.2%、難波で26.3%であった。社会人である難波が不申請や不採択が多い。

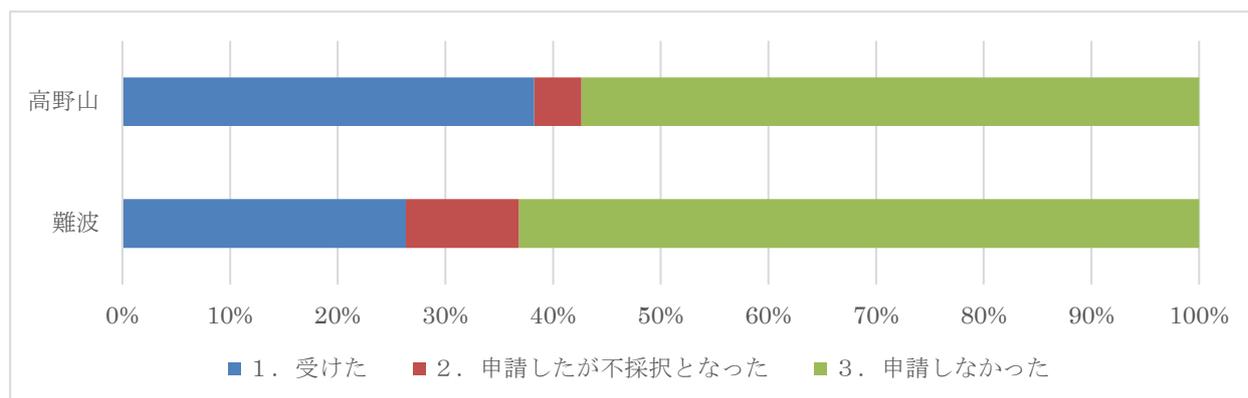


図 23 新型コロナウイルス感染症対策の経済的支援（問 15）×キャンパス（問 6）

日本学生支援機構奨学金については、難波では1名が受給し、1名が不採択で、他は申請していない。高野山では昨年度20.6%であったのが、本年度は32.4%と増加している（図 24）。

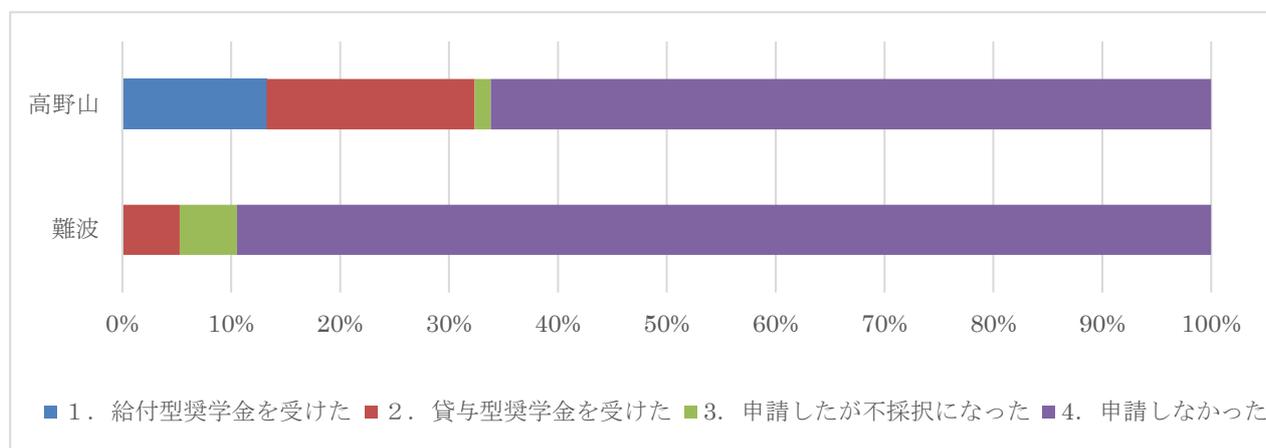


図 24 日本学生支援機構奨学金（問 16）×キャンパス（問 6）

学内奨学金については、難波では昨年度66.7%で、本年度は47.4%、高野山では昨年度は34.9%で、本年度は27.9%の学生が減少している（図 25）。授業料の免除が増加したためと考えられる（図 22）。全国については2016年のデータであり、コロナの影響を受けていないので、比較しにくい。

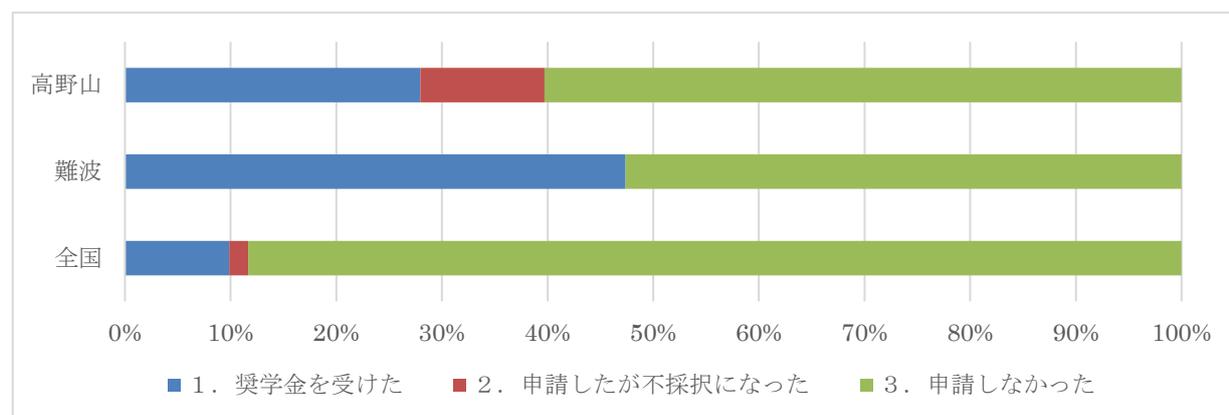


図 25 学内奨学金（問 17）×キャンパス（問 6）

開講中のアルバイトについては、高野山の昨年度と今年度のものを示した。「全くしなかった」は昨年度が **33.3%** に対して、**本年度は 58.8%** であった。「週に3日以上した」は昨年度が **30.2%** に対して、**本年度は 11.8%** であった（図 26）。コロナの影響でアルバイトが減少したと考えられる。

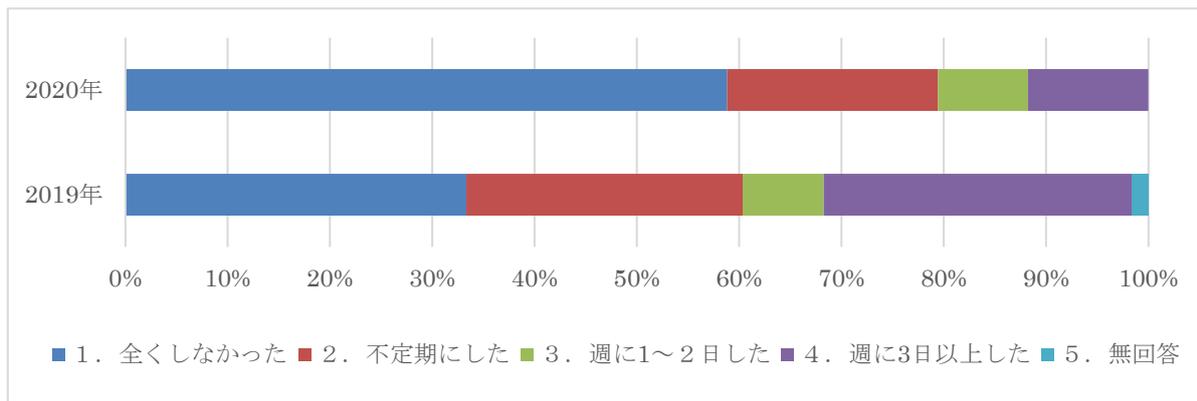


図 26 高野山における開講中のアルバイト（問 18）

長期休暇中のアルバイトについても、「全くしていなかった」は昨年度が **35.5%** に対して、**本年度が 69.1%** であった（図 27）。コロナの影響でアルバイトが減少したと考えられる。

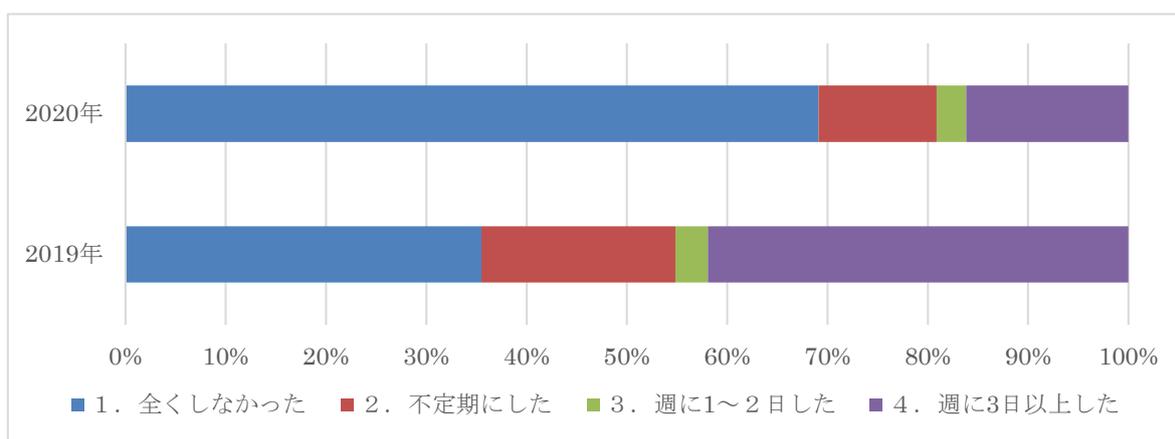


図 27 高野山における長期休暇中のアルバイト（問 19）

アルバイトの職種は、山内寺院が多いのは変わらないが、昨年度は販売が多かったのが、飲食業多くなっている（図 28）。学生が高野山の労働力となっているという高野山の特徴をよく示している。

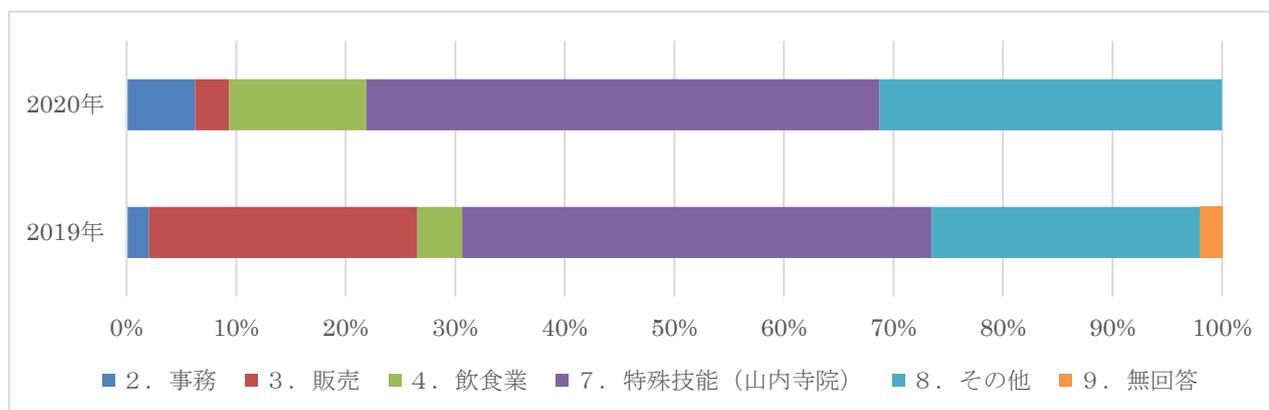


図 28 高野山におけるアルバイトの職種（問 20）

アルバイトの収入が減少したのは、63.3%であったが、「まったく減少しなかった」のは23.3%であった（図29）。

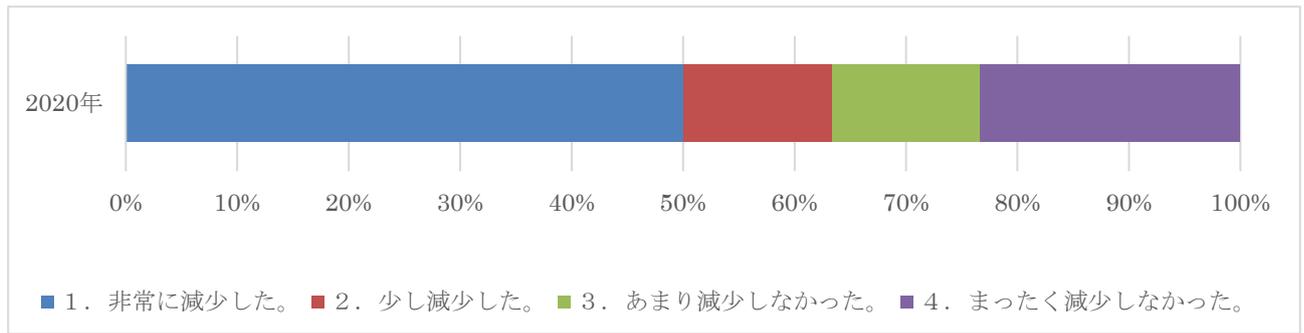


図29 アルバイト収入の増減 (問21)

アルバイト代の使い道は、2019年は娯楽・嗜好品が多かったが、学費や修学費、通学費、住宅・光熱費などの割合が高くなっている（図30）。コロナの影響と考えられる。

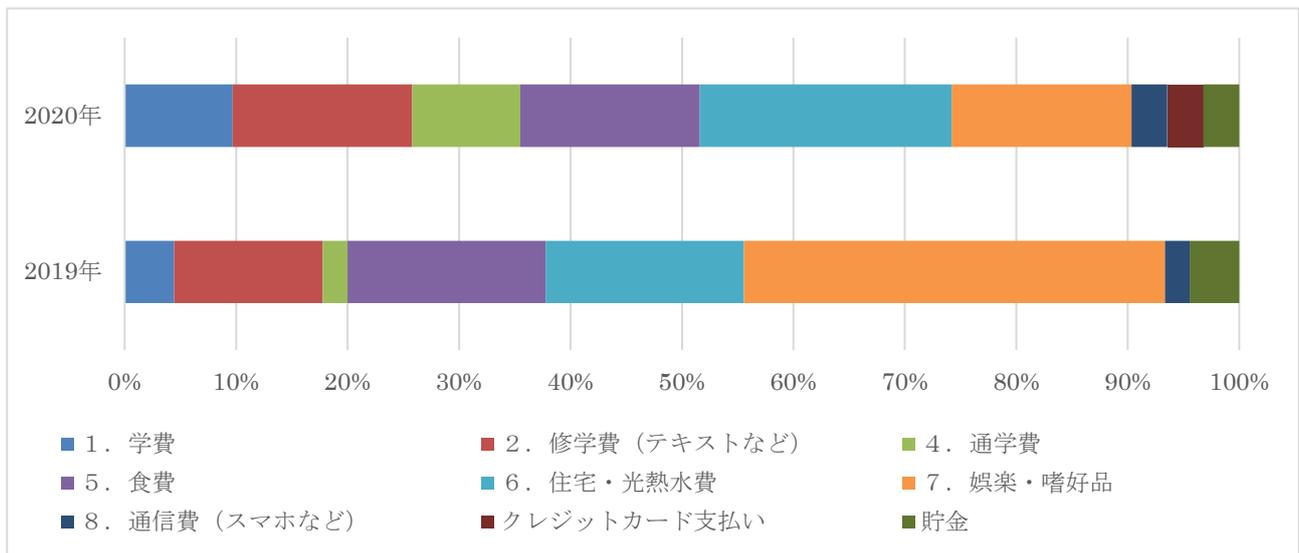


図30 高野山におけるアルバイト代の使い道 (問22)

家計支持者は、高野山では両親が70.6%で最も多く、本人が19.1%であり、師僧が8.8%である。難波では、本人が52.6%と最も多く、配偶者が31.6%である（図30）。

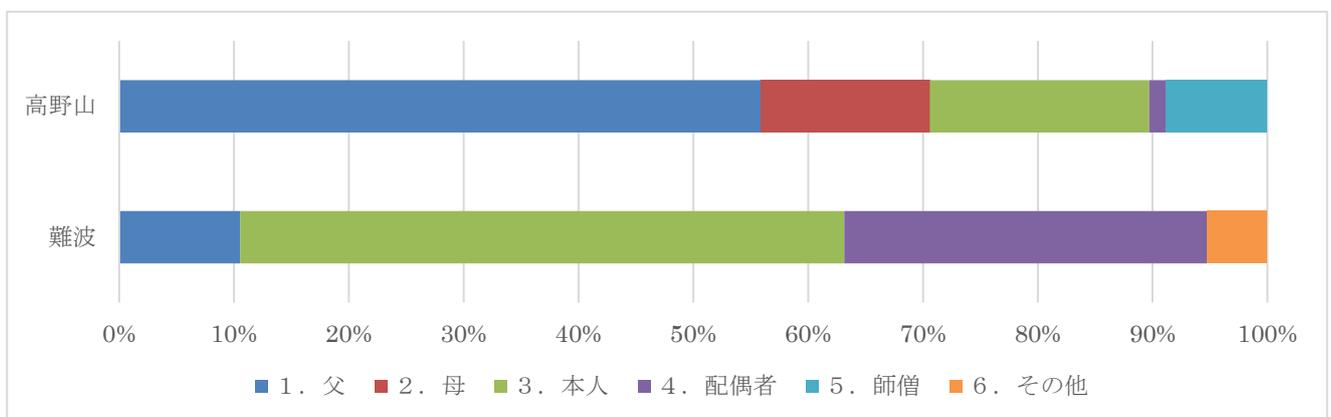


図30 家計支持者 (問23) × キャンパス (問6)

高野山における家計支持者の職業は、寺院・役僧が 39.7%を占めている（図 31）

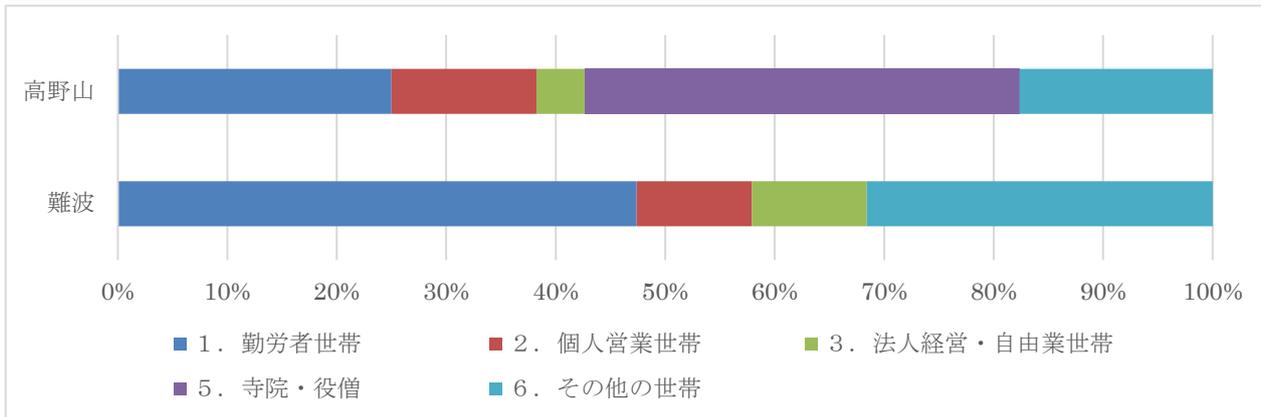


図 31 家計支持者の職業 (問 24) ×キャンパス (問 6)

3-4 学修状況

授業の受講状況については、難波では「ほぼ出席している」「すべて出席している」だけであるが、高野山では「出席していない」「欠席が多い」が 13.2%である（図 32）。アンケートに答えていない学生はほとんど出席していないと考えられるので、欠席者はかなり多いと考えられる。

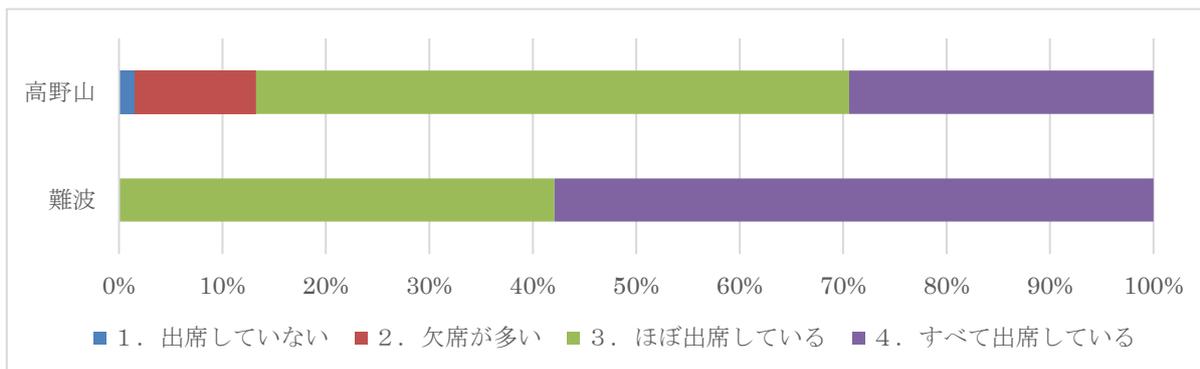


図 32 授業受講の状況 (問 25) ×キャンパス (問 6)

コロナ対策の遠隔授業は、難波では「すべて出席した」「ほぼ出席した」しかなかったが、高野山では「あまり出席しなかった」「まったく出席しなかった」が 13.2%であり（図 33）、図 32 の授業の受講状況と同じであり、遠隔授業であるかどうかとは関係がない。

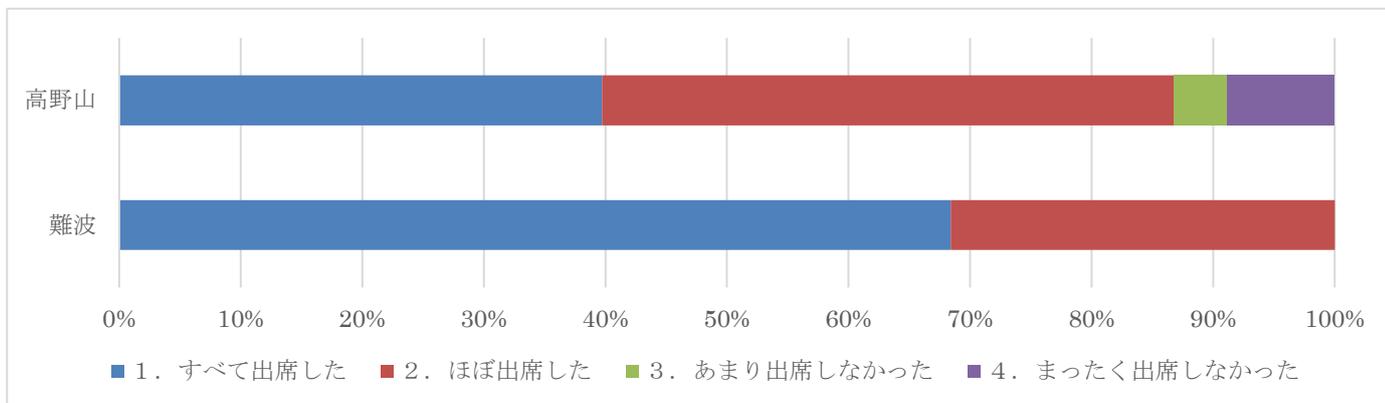


図 33 遠隔授業 (問 26) ×キャンパス (問 6)

授業態度については、**難波**では「あまり意欲的でない」が 5.3%（1 名）であるが、**意欲的であるが 94.7%**であり、その中でも「**大変意欲的である**」が **63.2%**を占めている。一方、**高野山**では**意欲的でないが 14.7%**となっており、「**大変意欲的である**」が **25.3%**と難波と比較すると低い（図 34）。

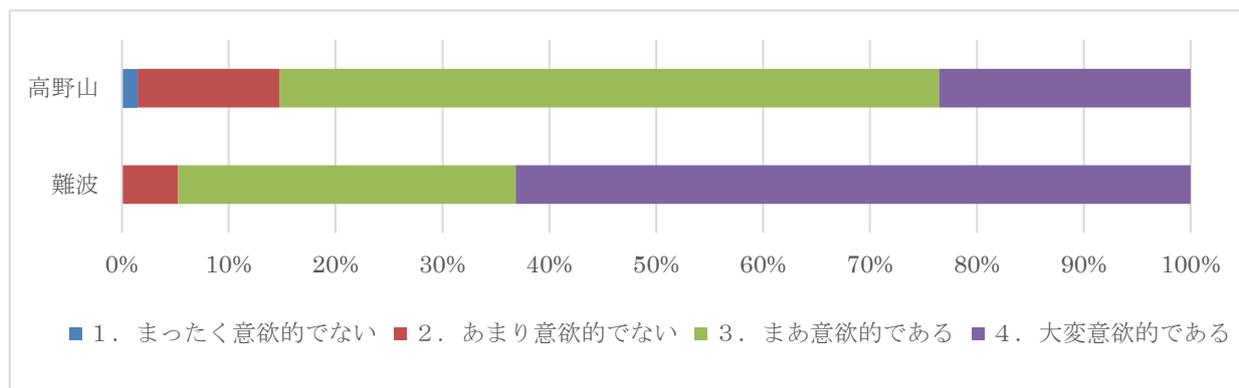


図 34 受講態度（問 27）×キャンパス（問 6）

授業の理解度については、難波では「全く理解できない」はいなかったが、高野山では 5.9%（4 名）いた。その一方で、難波では「完全に理解できる」がいなかったのに対して、高野山では 14.7%（10 名）いた。「**やや理解できない**」は**難波**で **21.1%**に対して、**高野山**では **22.1%**であった（図 35）。高野山での学生の理解度に多様性があることから、授業への工夫が一層求められる。

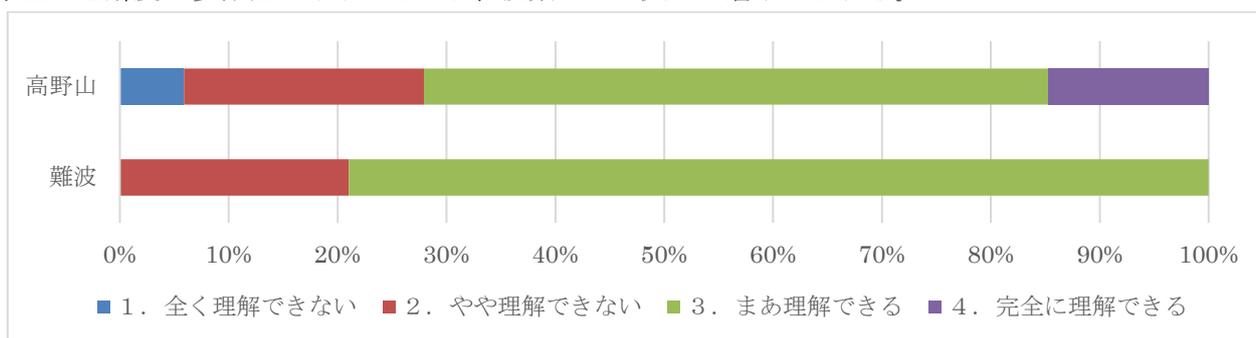
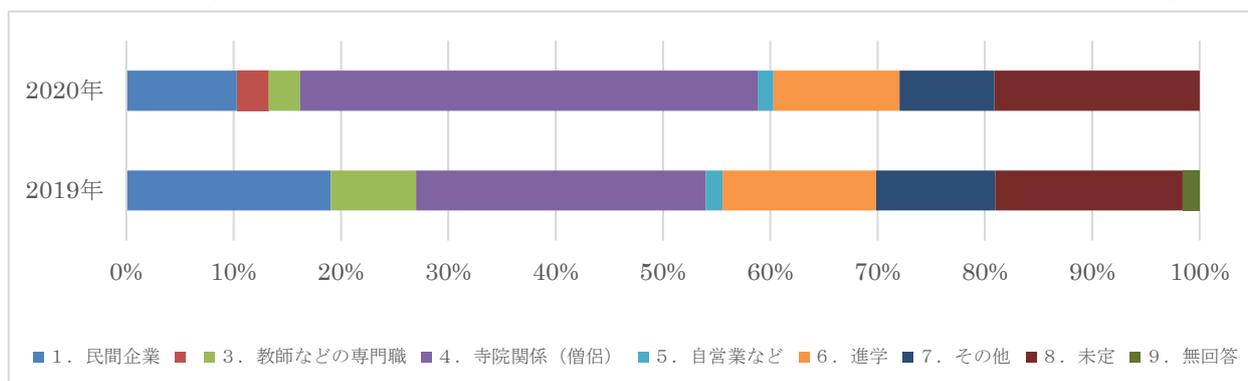


図 35 授業理解（問 26）×キャンパス（問 6）

3-5 進路希望

高野山における現在の進路希望では、2019 年度は民間企業 19.0%、**寺院関係 27.0%**、進学 14.3%、未定 17.5%が多かったが、2020 年では民間企業 10.3%、**寺院関係 42.6%**、進学 11.8%、未定 19.1%になっている（図 36）。寺院関係の割合が大幅に増えているが、コロナの影響か検討が必要である。



問 36 高野山における進路希望（問 29）

僧侶資格については、高野山では「取得しない」が25名であり、「取得している」が13名である。取得を予定している学生のうち、在学中に取得が20名と卒業後に取得が10名である。難波でも1名が僧侶資格を希望している（図34）。図38は、僧侶資格希望者の進捗状況を示している。

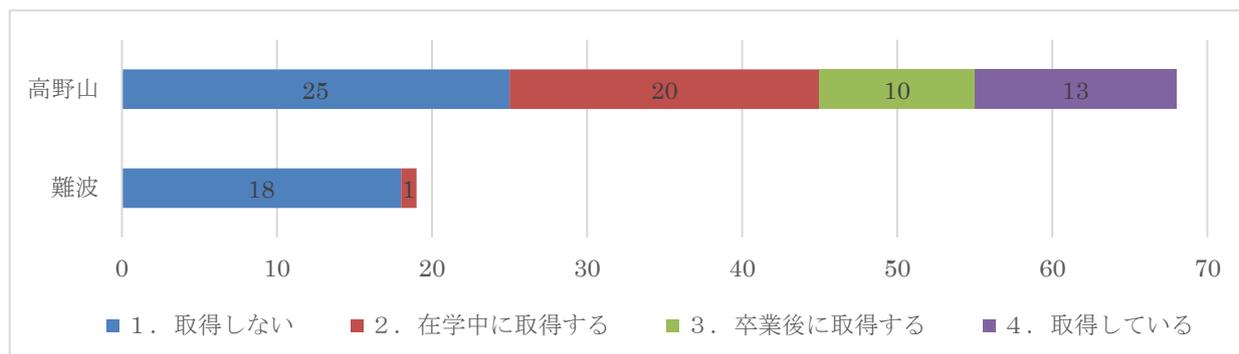


図37 僧侶資格（問30）×キャンパス（問6）

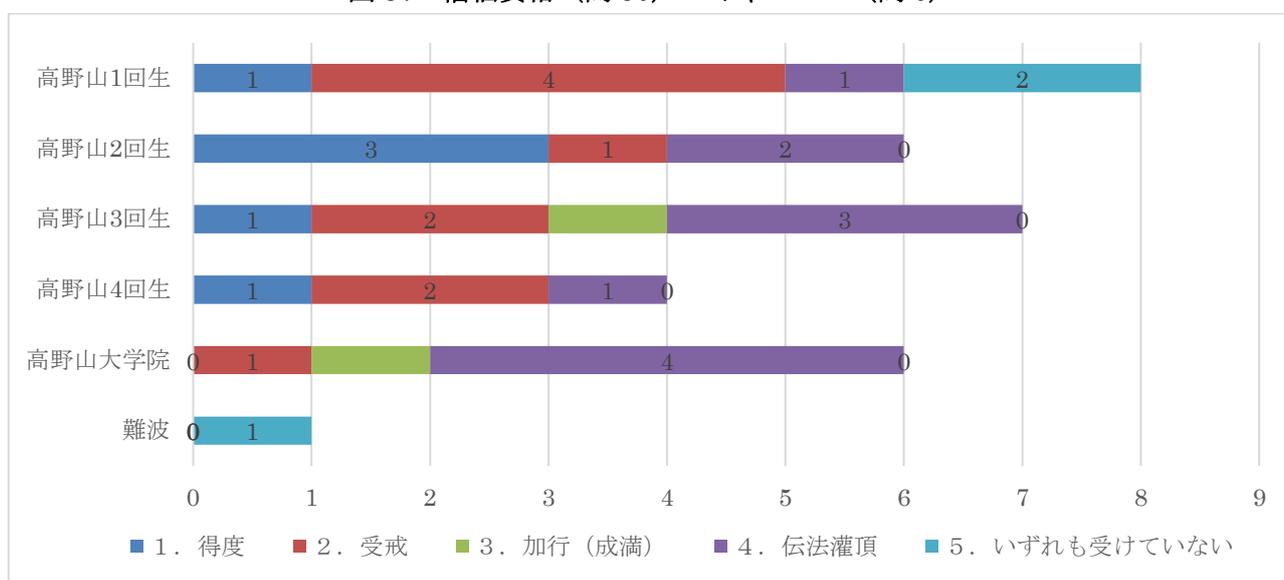


図38 高野山における僧侶資格の進捗状況（問31）×学年（問3）

4 おわりに

令和2年度はコロナウイルス感染症拡大によって、全国的に大学の授業は遠隔で行われた。本学でも6月第1週までは遠隔授業が実際された。教育活動だけではなく、学生生活へ影響は多大なものであった。本調査にもコロナウイルス感染症拡大への影響を感じさせる部分はあるが、実際の分析は教職員の日常の学生観察によるところが大きいと考えられるので、本調査ではアンケートからの考察に限ることになる。

本報告書では、令和元年に実施した学生生活調査の集計結果を概観した。高野山と難波では学生の違いから各質問において大きな違いが見られ、それぞれの特徴が表れている。可能な限り学生支援機構の調査と比較することで、全国平均との比較を行うことで、本学の学生について客観視することを心掛けた。高野山と全国では類似傾向が見られる質問もあったが、生活環境、学修状況、悩みや不安、経済状況など異なるものも多く見られた。

難波の学生は、自宅通学の社会人であり、キャリア形成の一環として学んでおり、学修意欲も高いと考えられる。一方、高野山の学生は、高野山内に住んでおり、通学時間が短い。

以下では、高野山の学生の特徴をあげておく。受講している授業時間は少ない。復習・予習時間は、

全くしていない学生もいる一方、6時間以上している学生もいる。部活動・サークル活動をまったくしていない学生は77.9%である。アルバイトをしていない学生は58.8%である。娯楽・交友に時間を使っていない学生も11.8%である。有効な時間の使い方をしていない学生が多い。また授業の理解、卒業後の進路、経済面、友人関係などへの不安や悩みが強い学生が多い。僧侶を希望している寺生は問題が少ないようであるが、学修支援、経済支援、生活支援、進路支援など多面的な支援が必要な学生は一般学生に多いと考えられる。また時間割やカリキュラムなどの制度面の改善も必要である。

今回の調査結果を今後の学生支援に活かすことが重要である。ただし、回答者数が少ないという点には注意を要する。今回は前回同様に学生支援機構の調査との比較を視野においてアンケートを実施したが、質問項目の見直しが必要である。日ごろからの面接による学生理解も重要である。

令和2年度 高野山大学学生生活調査

この調査は、学生生活の充実を目的としたものです。調査にあたって個人情報の保護に十分注意します。1月25日(月)までにご回答ください。

学生サポート課

問1 あなたの性別を教えてください。

男性 女性

問2 あなたの学科・専攻を教えてください。

1. 文学部密教学科 2. 文学部人間学科 3. 別科密教専修コース
4. 別科スピリチュアルケアコース 5. 大学院修士課程 6. 大学院博士後期課程

問3 あなたの学年を教えてください。

1回生 2回生 3回生 4回生

問4 あなたの年齢を教えてください。

問5 あなたの現在の居住先を教えてください。

1. 自宅 2. 大学寮 3. 高野山の寺院 4. 下宿・アパート 5. その他

問6 あなたが主として通学しているキャンパスを教えてください。*

高野山 難波サテライト教室

問7 あなたの通学時間を教えてください。

1. 0～10分 2. 11分～20分 3. 21分～30分 4. 31分～60分
5. 61分～90分 6. 91分～120分 7. 121分以上

問8 あなたの現在住んでいる市町村を教えてください。

問9 あなたが入学前に住んでいた都道府県を教えてください。(海外の場合は国名)

問10-1 最近1週間(7日間)の生活時間において、大学の授業は何時間でしたか。

1. 0時間 2. 1～5時間 3. 6-10時間 4. 11～15時間 5. 16～20時間
6. 21～25時間 7. 26～30時間 8. 31時間以上

問10-2 最近1週間(7日間)の生活時間において、授業の予習・復習は何時間でしたか。

1. 0時間 2. 1～5時間 3. 6-10時間 4. 11～15時間 5. 16～20時間
6. 21～25時間 7. 26～30時間 8. 31時間以上

問10-3 最近1週間(7日間)の生活時間において、授業以外の学習(資格取得、卒業論文、修士論文の作成など)は何時間でしたか。

1. 0時間 2. 1～5時間 3. 6-10時間 4. 11～15時間 5. 16～20時間
6. 21～25時間 7. 26～30時間 8. 31時間以上

問10-4 最近1週間(7日間)の生活時間において、部活動・サークル活動は何時間でしたか。

1. 0時間 2. 1～5時間 3. 6-10時間 4. 11～15時間 5. 16～20時間
6. 21～25時間 7. 26～30時間 8. 31時間以上

問10-5 最近1週間(7日間)の生活時間において、アルバイト・定職は何時間でしたか。

1. 0時間 2. 1～5時間 3. 6-10時間 4. 11～15時間 5. 16～20時間

6. 21～25 時間 7. 26～30 時間 8. 31 時間以上

問 10-6 最近 1 週間(7 日間)の生活時間において、娯楽・交友は何時間でしたか。

1. 0 時間 2. 1～5 時間 3. 6-10 時間 4. 11～15 時間 5. 16～20 時間

6. 21～25 時間 7. 26～30 時間 8. 31 時間以上

問 11-1 大学について、図書館・学習支援に満足していますか。

1. 不満 2. やや不満 3. やや満足 4. 満足 5. 利用していない

問 11-2 大学について、就職・進路への支援に満足していますか。

1. 不満 2. やや不満 3. やや満足 4. 満足 5. 利用していない

問 11-3 大学について、学習・生活面での相談に満足していますか。

1. 不満 2. やや不満 3. やや満足 4. 満足 5. 利用していない

問 11-4 大学について、奨学金等の経済的支援の情報提供に満足していますか。

1. 不満 2. やや不満 3. やや満足 4. 満足 5. 利用していない

問 12-1 あなたは「授業内容についていけない」ことに対して不安や悩みがありますか。

1. 大いにある 2. 少しある 3. あまりない 4. 全くない

問 12-2 あなたは「卒業後にやりたいことが見つからない」ことに対して不安や悩みがありますか。

1. 大いにある 2. 少しある 3. あまりない 4. 全くない

問 12-3 あなたは「希望の就職先や進学先に行けるか」不安ですか。

1. 大いにある 2. 少しある 3. あまりない 4. 全くない

問 12-4 あなたは「経済的に修学が難しい」ことに対して不安や悩みがありますか。

1. 大いにある 2. 少しある 3. あまりない 4. 全くない

問 12-5 あなたは「学内の友人関係の悩み」がありますか。

1. 大いにある 2. 少しある 3. あまりない 4. 全くない

問 13 あなたは学費・生活などへの家庭からの支援のみで修学可能ですか。

1. 修学可能 2. 修学不自由 3. 修学継続困難 4. 給付なし

問 14 あなたは授業料減免制度を受けていますか。

1. 全額を受けた 2. 半額を受けた 3. 申請したが不採択になった

4. 申請しなかった 5. 制度に該当しなかった

問 15 新型コロナウイルス感染症対策の経済的支援(学びの継続の為の給付金)を受給しましたか。*

1. 受けた 2. 申請したが不採択となった 3. 申請しなかった

問 16 あなたは日本学生支援機構奨学金を受給しましたか。

1. 給付型奨学金を受けた 2. 貸与型奨学金を受けた 3. 申請したが不採択になった

4. 申請しなかった

問 17 あなたは学内奨学金等を受給しましたか。

1. 奨学金を受けた 2. 申請したが不採択になった 3. 申請しなかった

問 18 開講期間中にアルバイトをしましたか。

1. 全くしなかった 2. 不定期にした 3. 週に 1～2 日した 4. 週に 3 日以上した

問 19 長期休暇中にアルバイトをしましたか。

1. 全くしなかった 2. 不定期にした 3. 週に 1～2 日した 4. 週に 3 日以上した

問 20 アルバイトをした方にお聞きします。主なアルバイトの職種を 1 つ教えてください。

1. 塾・家庭教師 2. 事務 3. 販売 4. 飲食業 5. 販売・飲食業を除く軽作業

6. 重労働・危険作業 7. 特殊技能(山内寺院) 8. その他

問 21 アルバイトをした方にお聞きします。新型コロナウイルス感染症によって収入は減少しましたか。

1. 非常に減少した。 2. 少し減少した。 3. あまり減少しなかった。
4. まったく減少しなかった。

問 22 アルバイトをした方にお聞きします。アルバイト収入の主な使い道を1つ教えてください。

1. 学費 2. 修学費(テキストなど) 3. 課外活動費 4. 通学費 5. 食費
6. 住宅・光熱水費 7. 娯楽・嗜好品 8. 通信費(スマホなど) その他:

問 23 主たる家計支持者を教えてください。

1. 父 2. 母 3. 本人 4. 配偶者 5. 師僧 6. その他

問 24 主たる家計支持者の職業を教えてください。

1. 勤労者世帯 2. 個人営業世帯 3. 法人経営・自由業世帯
4. 農林・水産業世帯 5. 寺院・役僧 6. その他の世帯

問 25 大学の授業を受講していますか。

1. 出席していない 2. 欠席が多い 3. ほぼ出席している 4. すべて出席している

問 26 コロナ感染症拡大対策による自粛期間等の遠隔授業は受講していましたか。

1. すべて出席した 2. ほぼ出席した 3. あまり出席しなかった
4. まったく出席しなかった

問 27 大学の授業を意欲的に受けていますか。

1. まったく意欲的でない 2. あまり意欲的でない 3. まあ意欲的である
4. 大変意欲的である

問 27 大学の授業は理解できていますか。

1. 全く理解できない 2. やや理解できない 3. まあ理解できる
4. 完全に理解できる

問 28 入学時における卒業後に希望する進路を次の中から答えなさい。

1. 民間企業 2. 公務員 3. 教師などの専門職 4. 寺院関係(僧侶)
5. 自営業など 6. 進学 7. その他 8. 未定

問 29 現在、あなたが卒業後に希望する進路を次の中から答えなさい。

1. 民間企業 2. 公務員 3. 教師などの専門職 4. 寺院関係(僧侶)
5. 自営業など 6. 進学 7. その他 8. 未定

問 30 僧侶の資格を取得する予定ですか。

1. 取得しない 2. 在学中に取得する 3. 卒業後に取得する 4. 取得している

問 31 問 30 で「2. 在学中に取得する」「3. 卒業後に取得する」と答えた方にお聞きします。僧侶になるための修行をどこまで進めていますか。

1. 得度 2. 受戒 3. 加行(成満) 4. 伝法灌頂 5. いずれも受けていない

問 32 本学を選んだ理由を教えてください。(自由記述)

問 33 何かあれば書いてください。(自由記述)